


区内各図書館のご案内

<p>中央図書館 西浅草 3-25-16 生涯学習センター 1階・2階 TEL:5246-5911</p>	<p>浅草橋分室 浅草橋 2-8-7 浅草橋区民館 2階・3階 TEL:3863-0082</p>	<p>谷中分室 谷中 5-6-5 谷中防災コミュニティセンター 3階 TEL:3824-4041</p>	<p>根岸図書館 根岸 5-18-13 都営根岸 5丁目Aパート 2階 TEL:3876-2101</p>
<p>石浜図書館 橋場 1-35-16 3階・4階 TEL:3876-0854</p>	<p>すこやかとじょしつ 東上野 4-22-8 台東保健所 3階 TEL:3847-3087</p>	<p>くらまえオレンジ図書館 蔵前 4-14-6 環境ふれあい館ひまわり 6階 TEL:3865-3201</p>	<p>図書館ホームページ </p>

※各図書館の開館日についてはホームページより開館カレンダーをご確認ください。

2022.9 台東区図書館だより vol.4
発行：台東区立中央図書館 (年2回発行)

図書館だより vol.4

読書週間が始まります

今年の標語：「この一冊に、ありがとう」

毎年、10月27日から11月9日までの、文化の日（11月3日）を挟んだ2週間は「読書週間」です。それに合わせて中央図書館ではおすすめの本でミニ特集を行います。秋の夜長にゆったりと読書はいかがでしょう。

開催期間：10月21日（金）から11月16日（水）まで
場所：台東区立中央図書館 1階



◆読書週間とは◆

終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。いまの10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）になったのは、第2回からです。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらいきっかけとなることを願っています。

（文：公益社団法人読書推進運動協議会）

中央図書館 1階

バリアフリー資料コーナー

令和4年3月より福祉サービスコーナーが移設し、関連する本を加え

「バリアフリー資料コーナー」となりました。

- ・ 障害者福祉に関する本
- ・ おおきな字で書かれた本（大活字本）
- ・ 点字で書かれた本
- ・ 写真や絵文字、絵文字などが活用された本（LLブック）
- ・ 音声と一緒に、文字や画像が表示されるデジタルの本（マルチメディア DAISY）

などの本を集めておいてあります。



雑誌スポンサーのご紹介



ご協力ありがとうございます

スポンサー名(敬称略、50音順)	提供雑誌(50音順)
朝日信用金庫 (本店：台東区台東 2-8-2)	週刊ダイヤモンド、週刊東洋経済 日経WOMAN、プレジデント プレジデント Family
うつわ屋うつろい (台東区松が谷 2-29-8 ベビーマンション 102)	dancyu
天麩羅 蔵前いせや (台東区蔵前 4-37-9)	東京カレンダー、ムー

★雑誌スポンサー制度とは？

社会貢献活動の一環として、台東区内の企業・店舗、個人の皆さんに図書館の雑誌を提供していただき、図書館運営に参加していただける制度です。ご参加いただいた場合、館内掲示等でスポンサー名を紹介し、スポンサー活動を顕彰します。

図書館運営にご協力いただける方のご応募をお待ちしております。

中央図書館にお問い合わせいただくか、図書館ホームページをご覧ください。

地域おこし 協力隊の強化書

畠田 千鶴／監修
ビジネス社

「地域おこし協力隊」という存在をご存じですか？

都市部から人口減少などが進む地域に移住し、地域活性化の活動を行います。2021年には隊員数が6000人以上に成長した人気の制度。各地の地域おこし協力隊員12人に取材したこの本で、その多様な活動内容を知ることができます。「体験談」としても魅力的な一冊です。

『風の便り』

小山 清
夏葉社

友への私信のような、小さな随筆集です。

著者は太宰治の弟子であり、芥川賞候補に三度挙がりながらも、生前に発表された単行本は僅か5冊の寡黙な作家。本書は雑誌や新聞を中心に、発表された全ての随筆から11編を精選したもの。活版印刷のタイトルや一枚一枚糊付けされた美しい絵。その手触りや質感、本そのものの佇まいも味わってください。

すばらしき アカデミックワールド

越智 啓太
北大路書房

「飼い犬と飼い主は似ているか？」「なんか脳的なことを言うと文章の信頼性が増す」など、素朴な疑問や好奇心を迫及した論文が実在するアカデミックワールド。この本ではそんな「オモシロ論文」を心理学のプロが解説しています。

中には「倫理学者は図書館の本を盗みやすい」なんて論文も…本当なら図書館は大変困ってしまうのですが、信頼性は、どうなのでしょう？ぜひ、読んでお確かめください。

ぼくのおいしいは 3でつくる

樋口 直哉
辰巳出版

ふつうの材料で、最高においしい、家ごはん。

フランス料理人から作家に転身した樋口直哉さんが普段の料理を紹介しています。「3を意識したら、料理は上手になる」をキーワードに、1皿には3つの食材、配色は3色、3角形に盛り付けが基本。それぞれの「献立」には風味豊かな文章も添えられた美味なレシピ本です。

こちらの本は、毎月発行している「たいとうライブラリーニュース」(メールマガジン)で過去に紹介された本から選んだものです。最新のおすすめ本はたいとうライブラリーニュースで配信しています。詳細は右記のQRコードをご参照ください。

